

※下線部は課題を計画に反映した箇所、**ゴシック太字**は新たに計画に追加した項目

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		平成 28 年度 事業報告	平成 29 年度 中間報告	課題	平成 30 年度 生駒市立病院 事業計画書
診療科目	14 診療科 内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 上記以外の診療科については、市民ニーズ等の必要に応じて、指定管理者と協議し、追加できるものとします。	15 診療科 内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 血管外科（平成 28 年 7 月～） 診察日・診察時間 ・診察日 月曜日～土曜日 （祝日、年末年始(12/31～1/3)を除く） ・診察時間 午前診察 9：00～12：00 夕方診察 17：00～19：00 （土曜日除く） ・受付時間 午前診察 8：00～12：00 夕方診察 16：30～19：00 （土曜日除く） 既存の診療科について、医療内容の充実を図りました。	16 診療科 内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 血管外科 皮膚科（平成 29 年 4 月～） 診察日・診察時間 ・診察日 月曜日～土曜日 （祝日、年末年始(12/31～1/3)を除く） ・診察時間 午前診察 9：00～12：00 夕方診察 17：00～19：00 （土曜日除く） ・受付時間 午前診察 8：00～12：00 夕方診察 16：30～19：00 （土曜日除く） 皮膚科の常勤医師の確保により、皮膚科を追加標榜しました。 形成外科の常勤医師が 1 名から 2 名となったことにより、レーザー外来を開設しました。		16 診療科 内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 血管外科 皮膚科 診察日・診察時間 ・診察日 月曜日～土曜日（祝日、年末年始(12/31～1/3)を除く） ・診察時間 午前診察 9：00～12：00 夕方診察 17：00～19：00（土曜日除く） ・受付時間 午前診察 8：00～12：00 夕方診察 16：30～19：00（土曜日除く） 既存の診療科について、常勤医師の確保やより高次、専門性の高い医療機関との連携体制の構築を図ります。 また、診療科の追加標榜又は専門外来の開設については、市と連携して、市内の医療需要や患者動向の把握に努めます。

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		平成 28 年度 事業報告	平成 29 年度 中間報告	課題	平成 30 年度 生駒市立病院 事業計画書
病床数	病床数 210 床	(平成 29 年 3 月 31 日) 実稼働可能病床数 146 床	(平成 29 年 9 月 30 日) 実稼働可能病床数 151 床 (達成率：72%)	○平成 28 年度実施状況調査 ・フルオープンするためには、看護師を増員する必要がある。	(平成 31 年 3 月 31 日) 実稼働可能病床数 210 床
	I C U 7 床 小児科 20 床 産婦人科 20 床 内科系 79 床 外科系 84 床	小児科 4 床 産婦人科 18 床 内科系 76 床 外科系 48 床 病棟編成 4 病棟、10 対 1 看護基準 許可病床 210 床のうち稼働病床は 146 床でした。次年度フルオープンを目指します。	小児科 4 床 産婦人科 18 床 内科系 76 床 外科系 53 床 病棟編成 3 病棟、10 対 1 看護基準 4 階西病棟 産婦人科と女性の一般患者を対象とした混合病棟 4 階東病棟 外科、消化器内科、腎臓泌尿器科、小児科 5 階西病棟 循環器内科、形成外科、一般内科 許可病床 210 床のうち稼働可能病床数は 151 床でした。今年度フルオープンを目指します。	・HCU を稼働させるためには、当直が可能な常勤医師を確保する必要がある。 ●平成 29 年度中間報告 ・HCU を稼働させるためには、平日は概ね常勤医師の当直体制ができているものの、土日祝については非常勤医師が当直しているため、土日祝についても常勤医師が当直する体制を整える必要がある。	小児科 5 床 産婦人科 20 床 内科系 87 床 外科系 91 床 HCU 7 床 病棟編成 5 病棟、10 対 1 看護基準 急性期病床 210 床をフルオープンすることで、がん患者等の市外、県外へ流出傾向にある患者の市内回帰を促進します。 <u>入院医療に対応できる常勤医師の確保に取り組み</u> 、既存病床の稼働率の向上を目指します。 また、 <u>重症患者の増加に対応すべく H C U の早期運用を目指します。</u>

人員体制	病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 28 年度 事業報告 (平成 29 年 3 月 31 日現在)	平成 29 年度 中間報告 (平成 29 年 9 月 30 日現在)	課題	平成 30 年度 生駒市立病院 事業計画書 (平成 31 年 3 月 31 日現在)																																																																																																																																																																																																																																																				
	人員体制については、開院当初は、1 日平均想定患者数 (外来 300 名、入院 140 名と仮定) による医療法規定人員数に基づき、次のとおり整えます。 <table><tr><th>職種</th><th>人数</th></tr><tr><td>医師</td><td>25名</td></tr><tr><td>看護師</td><td>80名</td></tr><tr><td>薬剤師</td><td>6名</td></tr><tr><td>理学療法士</td><td rowspan="2">3名</td></tr><tr><td>作業療法士</td></tr><tr><td>言語聴覚士</td><td></td></tr><tr><td>放射線技師</td><td>6名</td></tr><tr><td>検査技師</td><td>7名</td></tr><tr><td>栄養士</td><td>2名</td></tr><tr><td>看護助手</td><td>29名</td></tr><tr><td>事務職員等</td><td>40名</td></tr><tr><td>合計</td><td>198名</td></tr></table>	職種	人数	医師	25名	看護師	80名	薬剤師	6名	理学療法士	3名	作業療法士	言語聴覚士		放射線技師	6名	検査技師	7名	栄養士	2名	看護助手	29名	事務職員等	40名	合計	198名	<table><tr><th></th><th>常勤換算数</th></tr><tr><td rowspan="16">医師</td><td>内科</td><td>3.2名</td></tr><tr><td>消化器内科</td><td>1.2名</td></tr><tr><td>循環器内科</td><td>2.0名</td></tr><tr><td>外科</td><td>1.9名</td></tr><tr><td>脳神経外科</td><td>0.3名</td></tr><tr><td>整形外科</td><td>1.0名</td></tr><tr><td>形成外科</td><td>1.1名</td></tr><tr><td>小児科</td><td>1.4名</td></tr><tr><td>腎臓泌尿器科</td><td>2.5名</td></tr><tr><td>産婦人科</td><td>1.3名</td></tr><tr><td>リハビリテーション科</td><td>0.0名</td></tr><tr><td>放射線科</td><td>1.0名</td></tr><tr><td>救急科</td><td>0.0名</td></tr><tr><td>麻酔科</td><td>2.0名</td></tr><tr><td>血管外科</td><td>(1.0名)</td></tr><tr><td>計</td><td>18.9名</td></tr><tr><td rowspan="5">看護師</td><td>外来部門</td><td>32.2名</td></tr><tr><td>入院部門</td><td>52.8名</td></tr><tr><td>内)准看護師</td><td>5.0名</td></tr><tr><td>内)助産師</td><td>7.2名</td></tr><tr><td>内)保健師</td><td>1.0名</td></tr><tr><td>計</td><td>85.0名</td></tr><tr><td rowspan="10">その他</td><td>薬剤師</td><td>7.8名</td></tr><tr><td>理学療法士</td><td>3.0名</td></tr><tr><td>作業療法士</td><td>1.0名</td></tr><tr><td>言語聴覚士</td><td>1.0名</td></tr><tr><td>放射線技師</td><td>7.0名</td></tr><tr><td>検査技師</td><td>6.0名</td></tr><tr><td>栄養士</td><td>2.0名</td></tr><tr><td>看護助手</td><td>11.0名</td></tr><tr><td>臨床工学士</td><td>3.0名</td></tr><tr><td>事務職員等</td><td>38.2名</td></tr><tr><td>合計</td><td>183.9名</td></tr></table> ○医療従事者の確保について (医師の確保) 常勤医師が不足している脳神経外科、産婦人科、小児科、整形外科等の診療科を中心に、グループ他病院からの人事異動の要請、勤務希望者の募集、大学等関係機関への継続した働きかけを行いました。 医師事務作業補助者を増員し外来等へ配置し、医師の業務負担の軽減を図るなど勤務環境の改善を行いました。 (看護師、医療スタッフ等の確保) 学生実習の積極的な受け入れ、院内保育所の運営、多様な勤務形態の導入等を行いました。 研修制度の充実や病院が必要と判断した資格取得のための支援など、専門的な知識と技術を持った人材の確保・育成に取り組みました。		常勤換算数	医師	内科	3.2名	消化器内科	1.2名	循環器内科	2.0名	外科	1.9名	脳神経外科	0.3名	整形外科	1.0名	形成外科	1.1名	小児科	1.4名	腎臓泌尿器科	2.5名	産婦人科	1.3名	リハビリテーション科	0.0名	放射線科	1.0名	救急科	0.0名	麻酔科	2.0名	血管外科	(1.0名)	計	18.9名	看護師	外来部門	32.2名	入院部門	52.8名	内)准看護師	5.0名	内)助産師	7.2名	内)保健師	1.0名	計	85.0名	その他	薬剤師	7.8名	理学療法士	3.0名	作業療法士	1.0名	言語聴覚士	1.0名	放射線技師	7.0名	検査技師	6.0名	栄養士	2.0名	看護助手	11.0名	臨床工学士	3.0名	事務職員等	38.2名	合計	183.9名	<table><tr><th></th><th>常勤換算数</th></tr><tr><td rowspan="17">医師</td><td>内科</td><td>4.5名</td></tr><tr><td>消化器内科</td><td>1.1名</td></tr><tr><td>循環器内科</td><td>2.0名</td></tr><tr><td>外科</td><td>3.0名</td></tr><tr><td>脳神経外科</td><td>0.3名</td></tr><tr><td>整形外科</td><td>1.0名</td></tr><tr><td>形成外科</td><td>2.0名</td></tr><tr><td>小児科</td><td>0.4名</td></tr><tr><td>腎臓泌尿器科</td><td>2.4名</td></tr><tr><td>産婦人科</td><td>1.6名</td></tr><tr><td>リハビリテーション科</td><td>0.0名</td></tr><tr><td>放射線科</td><td>1.0名</td></tr><tr><td>救急科</td><td>0.0名</td></tr><tr><td>麻酔科</td><td>1.6名</td></tr><tr><td>血管外科</td><td>(2.0名)</td></tr><tr><td>皮膚科</td><td>1.0名</td></tr><tr><td>計</td><td>22.9名</td></tr><tr><td rowspan="5">看護師</td><td>外来部門</td><td>39.2名</td></tr><tr><td>入院部門</td><td>66.6名</td></tr><tr><td>内)准看護師</td><td>5.0名</td></tr><tr><td>内)助産師</td><td>9.2名</td></tr><tr><td>内)保健師</td><td>0.0名</td></tr><tr><td>計</td><td>105.8名</td></tr><tr><td rowspan="13">その他</td><td>薬剤師</td><td>8.7名</td></tr><tr><td>理学療法士</td><td>6.0名</td></tr><tr><td>作業療法士</td><td>1.0名</td></tr><tr><td>言語聴覚士</td><td>1.0名</td></tr><tr><td>放射線技師</td><td>6.0名</td></tr><tr><td>検査技師</td><td>6.0名</td></tr><tr><td>栄養士</td><td>3.0名</td></tr><tr><td>看護助手</td><td>14.0名</td></tr><tr><td>臨床工学技士</td><td>3.0名</td></tr><tr><td>事務職員等</td><td>40.1名</td></tr><tr><td>計</td><td>88.8名</td></tr><tr><td>合計</td><td>217.5名</td></tr></table> ○医療従事者の確保について (常勤医師の確保) グループ他病院からの人事異動の要請、病院ホームページ等による勤務希望者の募集等を行い、常勤医師を確保しました。 医師事務作業補助者を増員し外来等へ配置し、医師の業務負担の軽減を図るなど勤務環境の改善を行いました。		常勤換算数	医師	内科	4.5名	消化器内科	1.1名	循環器内科	2.0名	外科	3.0名	脳神経外科	0.3名	整形外科	1.0名	形成外科	2.0名	小児科	0.4名	腎臓泌尿器科	2.4名	産婦人科	1.6名	リハビリテーション科	0.0名	放射線科	1.0名	救急科	0.0名	麻酔科	1.6名	血管外科	(2.0名)	皮膚科	1.0名	計	22.9名	看護師	外来部門	39.2名	入院部門	66.6名	内)准看護師	5.0名	内)助産師	9.2名	内)保健師	0.0名	計	105.8名	その他	薬剤師	8.7名	理学療法士	6.0名	作業療法士	1.0名	言語聴覚士	1.0名	放射線技師	6.0名	検査技師	6.0名	栄養士	3.0名	看護助手	14.0名	臨床工学技士	3.0名	事務職員等	40.1名	計	88.8名	合計	217.5名	○平成 28 年度実施状況調査 ・常勤医師がいない脳神経外科、医師の退職により常勤医師が 1 名となった内科、消化器内科、外科の常勤医師を確保する必要がある。 ・産婦人科や小児科の診療内容を充実させるため、常勤医師を 2 名以上確保する必要がある。 ●平成 29 年度中間報告 ・常勤医師の確保により、内科、外科、形成外科については常勤医師が 2 名以上の体制となっているものの、常勤医師がいない脳神経外科、小児科、常勤医師が 1 名体制の消化器内科、整形外科、産婦人科、麻酔科については、常勤医師を確保する取組を引き続き実施する必要がある。 ・リハビリテーション科については、平日は理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等のスタッフにより実施ができているものの、土日祝の稼動を目指すためには、作業療法士、言語聴覚士を確保する取組を引き続き実施する必要がある。	<table><tr><th></th><th>常勤</th></tr><tr><td rowspan="17">医師</td><td>内科</td><td>2 名</td></tr><tr><td>消化器内科</td><td>2 名</td></tr><tr><td>循環器内科</td><td>2 名</td></tr><tr><td>外科</td><td>3 名</td></tr><tr><td>脳神経外科</td><td>2 名</td></tr><tr><td>整形外科</td><td>2 名</td></tr><tr><td>形成外科</td><td>2 名</td></tr><tr><td>小児科</td><td>2 名</td></tr><tr><td>腎臓泌尿器科</td><td>2 名</td></tr><tr><td>産婦人科</td><td>2 名</td></tr><tr><td>リハビリテーション科</td><td>1 名</td></tr><tr><td>放射線科</td><td>1 名</td></tr><tr><td>救急科</td><td>1 名</td></tr><tr><td>麻酔科</td><td>2 名</td></tr><tr><td>血管外科</td><td>1 名</td></tr><tr><td>皮膚科</td><td>1 名</td></tr><tr><td>計</td><td>28 名</td></tr><tr><td rowspan="5">看護師</td><td>外来部門</td><td>50 名</td></tr><tr><td>入院部門</td><td>97 名</td></tr><tr><td>内) 准看護師</td><td>5 名</td></tr><tr><td>内) 助産師</td><td>13 名</td></tr><tr><td>内) 保健師</td><td>1 名</td></tr><tr><td>計</td><td>147 名</td></tr><tr><td rowspan="11">その他</td><td>薬剤師</td><td>12 名</td></tr><tr><td>理学療法士</td><td>10 名</td></tr><tr><td>作業療法士</td><td>2 名</td></tr><tr><td>言語聴覚士</td><td>2 名</td></tr><tr><td>放射線技師</td><td>8 名</td></tr><tr><td>検査技師</td><td>7 名</td></tr><tr><td>栄養士</td><td>3 名</td></tr><tr><td>看護助手</td><td>15 名</td></tr><tr><td>臨床工学技士</td><td>3 名</td></tr><tr><td>事務職員他</td><td>50 名</td></tr><tr><td>合計</td><td>287 名</td></tr></table> ○医療従事者の確保の方法について (医師の確保) 特に常勤医師が不足している脳神経外科、小児科、整形外科、産婦人科、消化器内科、麻酔科の診療科を中心に、グループ他病院からの人事異動の要請、勤務希望者の募集、大学等関係機関への継続した働きかけを行います。 医師事務作業補助者を外来等へ配置し、医師の業務負担の軽減を図るなど、引き続き勤務環境の改善を行います。 (看護師、医療スタッフ等の確保) 引き続き学生実習の積極的な受け入れ、院内保育所の運営、再就職支援のための研修、多様な勤務形態の導入等を行います。 研修制度の充実や病院が必要と判断した資格取得のための支援など、専門的な知識と技術を持った人材の確保・育成に継続して取り組みます。 リハビリテーション科については、理学療法の日・祝の実施を目指し、理学療法士の増員を図ります。また、作業療法士、言語聴覚士についても引き続き確保に取り組みます。		常勤	医師	内科	2 名	消化器内科	2 名	循環器内科	2 名	外科	3 名	脳神経外科	2 名	整形外科	2 名	形成外科	2 名	小児科	2 名	腎臓泌尿器科	2 名	産婦人科	2 名	リハビリテーション科	1 名	放射線科	1 名	救急科	1 名	麻酔科	2 名	血管外科	1 名	皮膚科	1 名	計	28 名	看護師	外来部門	50 名	入院部門	97 名	内) 准看護師	5 名	内) 助産師	13 名	内) 保健師	1 名	計	147 名	その他	薬剤師	12 名	理学療法士	10 名	作業療法士	2 名	言語聴覚士	2 名	放射線技師	8 名	検査技師	7 名	栄養士	3 名	看護助手	15 名	臨床工学技士	3 名	事務職員他	50 名	合計	287 名
	職種	人数																																																																																																																																																																																																																																																							
	医師	25名																																																																																																																																																																																																																																																							
看護師	80名																																																																																																																																																																																																																																																								
薬剤師	6名																																																																																																																																																																																																																																																								
理学療法士	3名																																																																																																																																																																																																																																																								
作業療法士																																																																																																																																																																																																																																																									
言語聴覚士																																																																																																																																																																																																																																																									
放射線技師	6名																																																																																																																																																																																																																																																								
検査技師	7名																																																																																																																																																																																																																																																								
栄養士	2名																																																																																																																																																																																																																																																								
看護助手	29名																																																																																																																																																																																																																																																								
事務職員等	40名																																																																																																																																																																																																																																																								
合計	198名																																																																																																																																																																																																																																																								
	常勤換算数																																																																																																																																																																																																																																																								
医師	内科	3.2名																																																																																																																																																																																																																																																							
	消化器内科	1.2名																																																																																																																																																																																																																																																							
	循環器内科	2.0名																																																																																																																																																																																																																																																							
	外科	1.9名																																																																																																																																																																																																																																																							
	脳神経外科	0.3名																																																																																																																																																																																																																																																							
	整形外科	1.0名																																																																																																																																																																																																																																																							
	形成外科	1.1名																																																																																																																																																																																																																																																							
	小児科	1.4名																																																																																																																																																																																																																																																							
	腎臓泌尿器科	2.5名																																																																																																																																																																																																																																																							
	産婦人科	1.3名																																																																																																																																																																																																																																																							
	リハビリテーション科	0.0名																																																																																																																																																																																																																																																							
	放射線科	1.0名																																																																																																																																																																																																																																																							
	救急科	0.0名																																																																																																																																																																																																																																																							
	麻酔科	2.0名																																																																																																																																																																																																																																																							
	血管外科	(1.0名)																																																																																																																																																																																																																																																							
	計	18.9名																																																																																																																																																																																																																																																							
看護師	外来部門	32.2名																																																																																																																																																																																																																																																							
	入院部門	52.8名																																																																																																																																																																																																																																																							
	内)准看護師	5.0名																																																																																																																																																																																																																																																							
	内)助産師	7.2名																																																																																																																																																																																																																																																							
	内)保健師	1.0名																																																																																																																																																																																																																																																							
計	85.0名																																																																																																																																																																																																																																																								
その他	薬剤師	7.8名																																																																																																																																																																																																																																																							
	理学療法士	3.0名																																																																																																																																																																																																																																																							
	作業療法士	1.0名																																																																																																																																																																																																																																																							
	言語聴覚士	1.0名																																																																																																																																																																																																																																																							
	放射線技師	7.0名																																																																																																																																																																																																																																																							
	検査技師	6.0名																																																																																																																																																																																																																																																							
	栄養士	2.0名																																																																																																																																																																																																																																																							
	看護助手	11.0名																																																																																																																																																																																																																																																							
	臨床工学士	3.0名																																																																																																																																																																																																																																																							
	事務職員等	38.2名																																																																																																																																																																																																																																																							
合計	183.9名																																																																																																																																																																																																																																																								
	常勤換算数																																																																																																																																																																																																																																																								
医師	内科	4.5名																																																																																																																																																																																																																																																							
	消化器内科	1.1名																																																																																																																																																																																																																																																							
	循環器内科	2.0名																																																																																																																																																																																																																																																							
	外科	3.0名																																																																																																																																																																																																																																																							
	脳神経外科	0.3名																																																																																																																																																																																																																																																							
	整形外科	1.0名																																																																																																																																																																																																																																																							
	形成外科	2.0名																																																																																																																																																																																																																																																							
	小児科	0.4名																																																																																																																																																																																																																																																							
	腎臓泌尿器科	2.4名																																																																																																																																																																																																																																																							
	産婦人科	1.6名																																																																																																																																																																																																																																																							
	リハビリテーション科	0.0名																																																																																																																																																																																																																																																							
	放射線科	1.0名																																																																																																																																																																																																																																																							
	救急科	0.0名																																																																																																																																																																																																																																																							
	麻酔科	1.6名																																																																																																																																																																																																																																																							
	血管外科	(2.0名)																																																																																																																																																																																																																																																							
	皮膚科	1.0名																																																																																																																																																																																																																																																							
	計	22.9名																																																																																																																																																																																																																																																							
看護師	外来部門	39.2名																																																																																																																																																																																																																																																							
	入院部門	66.6名																																																																																																																																																																																																																																																							
	内)准看護師	5.0名																																																																																																																																																																																																																																																							
	内)助産師	9.2名																																																																																																																																																																																																																																																							
	内)保健師	0.0名																																																																																																																																																																																																																																																							
計	105.8名																																																																																																																																																																																																																																																								
その他	薬剤師	8.7名																																																																																																																																																																																																																																																							
	理学療法士	6.0名																																																																																																																																																																																																																																																							
	作業療法士	1.0名																																																																																																																																																																																																																																																							
	言語聴覚士	1.0名																																																																																																																																																																																																																																																							
	放射線技師	6.0名																																																																																																																																																																																																																																																							
	検査技師	6.0名																																																																																																																																																																																																																																																							
	栄養士	3.0名																																																																																																																																																																																																																																																							
	看護助手	14.0名																																																																																																																																																																																																																																																							
	臨床工学技士	3.0名																																																																																																																																																																																																																																																							
	事務職員等	40.1名																																																																																																																																																																																																																																																							
	計	88.8名																																																																																																																																																																																																																																																							
	合計	217.5名																																																																																																																																																																																																																																																							
		常勤																																																																																																																																																																																																																																																							
医師	内科	2 名																																																																																																																																																																																																																																																							
	消化器内科	2 名																																																																																																																																																																																																																																																							
	循環器内科	2 名																																																																																																																																																																																																																																																							
	外科	3 名																																																																																																																																																																																																																																																							
	脳神経外科	2 名																																																																																																																																																																																																																																																							
	整形外科	2 名																																																																																																																																																																																																																																																							
	形成外科	2 名																																																																																																																																																																																																																																																							
	小児科	2 名																																																																																																																																																																																																																																																							
	腎臓泌尿器科	2 名																																																																																																																																																																																																																																																							
	産婦人科	2 名																																																																																																																																																																																																																																																							
	リハビリテーション科	1 名																																																																																																																																																																																																																																																							
	放射線科	1 名																																																																																																																																																																																																																																																							
	救急科	1 名																																																																																																																																																																																																																																																							
	麻酔科	2 名																																																																																																																																																																																																																																																							
	血管外科	1 名																																																																																																																																																																																																																																																							
	皮膚科	1 名																																																																																																																																																																																																																																																							
	計	28 名																																																																																																																																																																																																																																																							
看護師	外来部門	50 名																																																																																																																																																																																																																																																							
	入院部門	97 名																																																																																																																																																																																																																																																							
	内) 准看護師	5 名																																																																																																																																																																																																																																																							
	内) 助産師	13 名																																																																																																																																																																																																																																																							
	内) 保健師	1 名																																																																																																																																																																																																																																																							
計	147 名																																																																																																																																																																																																																																																								
その他	薬剤師	12 名																																																																																																																																																																																																																																																							
	理学療法士	10 名																																																																																																																																																																																																																																																							
	作業療法士	2 名																																																																																																																																																																																																																																																							
	言語聴覚士	2 名																																																																																																																																																																																																																																																							
	放射線技師	8 名																																																																																																																																																																																																																																																							
	検査技師	7 名																																																																																																																																																																																																																																																							
	栄養士	3 名																																																																																																																																																																																																																																																							
	看護助手	15 名																																																																																																																																																																																																																																																							
	臨床工学技士	3 名																																																																																																																																																																																																																																																							
	事務職員他	50 名																																																																																																																																																																																																																																																							
	合計	287 名																																																																																																																																																																																																																																																							

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 28 年度 事業報告	平成 29 年度 中間報告	課題	平成 30 年度 生駒市立病院 事業計画書
1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○質の高い医療の提供 生駒市の地域医療の問題点を踏まえ、政策的に実施すべき医療事業を確実に実施し、市民満足度の高い、質の高い医療を提供する。	患者中心の市民満足度の高い、質の高い医療を目指し、最新の設備を配置し、患者にとって最適な治療・ケアを行いました。 腹腔鏡下手術やダ・ヴィンチ手術等、患者の身体への負担が少ない低侵襲手術に取り組みました。 患者の意見に基づき、医療やサービス等が適切であるかどうかを検討し、改善を行いました。 ○医療サービスについて - 手術件数（全体） 870 件 - 分娩件数 97 件 - 産科交流会 ※母子同士の交流、育児情報の提供等、産後のサポートを行いました。 12/10 27 家族参加 (当院で生まれたお子様 18 人) - 医療機器等の整備(導入機器) - 輸液ポンプ・シリンジポンプの増設 - 人工透析装置の増設 5 台、透析液供給装置設置 ○患者満足度の向上について - ご意見箱の内容に対応 ご意見箱の意見及びそれに対する改善の取組について、対応の掲示および生駒市立病院管理運営協議会へ報告しました。 - 院内スタッフ対象の接遇研修の実施	患者中心の市民満足度の高い、質の高い医療を目指し、最新の設備を配置し、患者にとって最適な治療・ケアを行いました。 腹腔鏡下手術やダ・ヴィンチ手術等、患者の身体への負担が少ない低侵襲手術に取り組みました。 患者の意見に基づき、医療やサービス等が適切であるかどうかを検討し、改善を行いました。 ○医療サービスについて - 手術件数（全体） 577 件 - 分娩件数 43 件 - 産科交流会 7/8 21 組 67 名の家族が参加 - 医療機器等の整備(導入機器) - 新病棟を開設するため、心電図モニターを増設 - 形成外科にレーザー機器を導入 - 形成外科 「難治性潰瘍の治療のための PRP 療法」の提供を実施しています。 - 消化器内科 「水浸法」という無痛の大腸内視鏡検査を実施しています。 - 腎臓泌尿器科 増加が顕著な前立腺がんの早期診断・治療を目指して腫瘍マーカー（PSA）によるスクリーニングや前立腺生検を積極的に実施しています。 - 人工透析室 バスキュラーアクセスセンターを開設し、血液透析導入にあたっての血管アクセスの作成、血管エコーやシャント造影検査、カテーテルによる血管拡張術・血栓除去術などを駆使したバスキュラーアクセスの管理に取り組んでいます。 ○患者満足度の向上について - 入院・外来患者アンケート調査実施（H29.5） 患者満足度（総合評価の評点） 入院 80.6 点（有効件数 102 件） 外来 79.3 点（有効件数 407 件） - ご意見箱の内容に対応 ご意見箱の意見による改善の取組について、1 階中央待合室の掲示板に掲示するとともに、情報発信モニターに掲載しました。また、生駒市立病院管理運営協議会へ報告しました。	○平成 28 年度実施状況調査 - 平成 2 8 年度は患者アンケートを実施できなかったため、平成 2 9 年度に実施する。 ●平成 29 年度中間報告 - ご意見箱の意見及び改善の取組について、ホームページでの公表等も検討する必要があります。	基本方針 安全で質の高い医療サービスの提供を目指し、最新の設備を配置し、豊富なキャリアを積んだ医師や看護師、コメディカルスタッフがチーム医療で、患者にとって最適な治療・ケアを行います。 引き続き、腹腔鏡下手術やダ・ヴィンチ手術等、患者の身体への負担が少ない低侵襲手術に取り組みます。 患者の意見から、医療やサービス等が適切であるかどうかを検討し、患者の意見を反映した心温まる医療サービスの提供を目指します。 ○医療サービスについて - 手術件数（全体） 約 1750 件(外科 270 件 整形外科 250 件 形成外科 580 件 腎臓泌尿器科 120 件 産婦人科 120 件 血管外科 60 件 循環器内科 350 件) - 分娩件数 120 件 - 産科交流会 ※母子同士の交流、育児情報の提供等、産後のサポートを行います。 - 医療機器等の整備 必要性・採算性などを検討の上、高度医療機器の整備を行います。 (導入予定機器) - 乳房 X 線撮影装置 - 未稼働手術室関連医療機器等（手術台、モニター、麻酔器等） - 脳神経外科手術用電子顕微鏡等 主要疾病（4 疾病）に係る医療体制 がん 地域がん診療連携拠点病院（近畿大学医学部奈良病院）と連携のもと精密検査や病理診断、手術療法、化学療法によるがん治療体制の充実 脳卒中 近畿大学医学部奈良病院、市立奈良病院との連携のもと、発病後、できる限り早期に検査・診断・治療できる体制の確保 急性心筋梗塞 緊急の心臓カテーテル検査・ P C I が 24 時間 365 日可能な体制の確保 糖尿病 かかりつけ医との連携のもと、糖尿病低血糖症等急性増悪時の治療、慢性合併症の治療の実施 ○患者満足度の向上について - 入院・外来患者アンケート調査の実施 - ご意見箱の内容に対応 アンケート調査の結果、ご意見箱の意見及びそれに対する改善の取組について、ホームページ・情報モニター・病院だよりで公表し、市立病院管理運営協議会へ報告します。 - 院内スタッフ対象の接遇研修の実施 - 待ち時間解消策の実施（自動精算機の利用促進）

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 28 年度 事業報告	平成 29 年度 中間報告	課題	平成 30 年度 生駒市立病院 事業計画書
医療における安全管理に対する取組 ●安全管理マニュアルの策定について 各部署からリスクマネージャーを選任し、院内にリスクマネジメント委員会を設置します。また、リスクマネジメント委員会は隔週開催し、医療安全管理者を中心に報告事例をもとにマニュアル化したうえ便覧を作成、各部署に配布し情報を共有します。 ●医療事故に対する対応について 発生した医療事故については、関係者から医療安全管理者へ迅速に報告し、その報告をもとに調査を行い、MRM（メディカルリスクマネジメント）委員会で分析したうえ、医療安全推進委員会で討議し対応の決定を行ないます。 ●院内感染対策について 感染防止委員会・リンクナース委員会をそれぞれ定期的に開催し、感染症発生の監視、院内感染の監視、職員の管理（予防接種等）、事故調査及び防止策の検討、職員に対する啓蒙と教育など、感染防止に対する取り組みを行ないます。	○医療における安全管理について 市民の生命と健康を守る観点から、医療安全管理規程に基づき、医療安全管理委員会や院内感染対策委員会を中心に、インシデント・アクシデントに関する事例の分析、改善方法の院内共有など、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めました。 ・医療安全管理委員会（5/16、6/20、7/25、8/15、9/26、10/17、11/21、12/14、1/18、2/20、3/16 開催） ・医療安全カンファレンス（毎週 1 回開催） ・医療安全ラウンド（10/17 で終了） ・医療安全勉強会（1/16 112 名参加、3/13 76 名参加） （院内感染対策について） 継続的に院内感染防止活動に取り組みました。 ・院内感染対策委員会（毎月 1 回開催） ・ICT 合同カンファレンス（偶数月参加） ・ICT ラウンド（毎週 1 回開催） ・感染勉強会（5/19 84 名参加、2/20 75 名参加）	○医療における安全管理について （医療安全管理体制について） 市民の生命と健康を守る観点から、医療安全管理規程に基づき、医療安全管理委員会や院内感染対策委員会を中心に、インシデント・アクシデントに関する事例の分析、改善方法の院内共有など、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めました。 ・医療安全管理委員会（毎月 1 回開催） ・医療安全カンファレンス（毎週 1 回開催） ・医療安全勉強会（6/12 67 名参加、6/19 63 名参加） （院内感染対策について） 継続的に院内感染防止活動に取り組みました。 ・院内感染対策委員会（毎月 1 回開催） ・ICT 合同カンファレンス（偶数月参加） ・ICT ラウンド（毎週 1 回開催） ・感染勉強会（8/15 76 名参加、8/25 65 名参加）	●平成 29 年度中間報告 ・医療安全に関する取組等について、市民へ公開する情報や公開の方法等についても検討する必要がある。 （医療安全管理体制について） 市民・患者に信頼される安全で安心できる病院を目指して、医療安全管理委員会を中心に、インシデント・アクシデントに関する事例の分析、改善方法の院内共有、医療安全研修の実施により、事故防止の要点や対策について職員に周知徹底することで、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めます。<u>また、医療安全に関する市民への情報公開の方法等についても引き続き検討します。</u> ・医療安全管理委員会（毎月 1 回開催） ・医療安全カンファレンス（毎週 1 回開催） ・医療安全ラウンド（毎月 1 回開催） ・医療安全勉強会（年 2 回開催） （医療事故に対する対応について） 医療事故発生時は、引き続き次の点について徹底し、院内の総力を挙げて迅速・的確に対応します。 ・患者の安全確保と救命処置を最優先します。 ・病院内における事故等の報告を速やかに行います。 ・患者・家族への事実の説明を誠実かつ速やかに行います。 ・重大な医療事故の場合は、保健所、警察署等へ速やかに報告・届出を行います。 ・事故の再発防止策を早期に検討し、職員に周知徹底します。 （院内感染対策について） 院内の全ての人を院内感染から守るため、継続的に院内感染防止活動に取り組みます。 ・院内感染対策委員会（毎月 1 回開催） ・ICT 合同カンファレンス（偶数月参加） ・ICT ラウンド（毎週 1 回開催） ・感染勉強会（年 2 回開催）	

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 28 年度 事業報告	平成 29 年度 中間報告	課題	平成 30 年度 生駒市立病院 事業計画書
1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○地域完結型の医療体制構築への寄与 地域の病院がそれぞれの機能を分担し、かかりつけ医との連携も含めた地域完結型の医療を目指し、また、患者を中心とした継続性のある医療を提供するため、前方連携と後方連携を考慮し、周辺の地域医療機関との病診連携や病病連携を積極的に推進する。 地域医療の支援に対する取組 ●在宅支援機能の充実 地域連携バスや退院支援チーム等の取組みにより、在宅支援診療所との連携を図りながら、在宅への移行支援を行ないます。また、急性期医療の患者を対象とした在宅医療システムを検討実施します。具体的には、在宅患者の増悪事に対応する処置、入院加療用として 5 床を確保します。 ●開放型病床の設置 地域の開業医と連携することにより、診療の一貫性が実現できることから、医師会と病床数や運営方法を協議の上、開放型病床を設置します。 ●地域医療機関への医療教育プログラムの提供 次の取組を検討し、段階的に実施します。 ・診療科による他医療機関との合同症例検討会の実施 ・院内外の医療従事者に対する TCLS※又は AHABLS、AHAACLS トレーニング（ACLS に相当する指定管理者のプログラム）の継続的实施（2 年に 1 回程度） ・医療機関、救急隊との定期勉強会の実施（年 2 回程度） ※TCLS 二次医療機関で行う救命救急における心肺蘇生法で、アメリカ心臓協会が認定しているコースである ACLS のガイドラインに基づいた実際の医療機器を使用したシミュレーション実習のこと。	地域の医療機関との病診・病病連携を積極的に推進するとともに、介護・福祉施設との密接な連携を図ることで、地域医療の充実を図りました。 ○在宅支援機能の充実について 医療連携登録医や協力医療機関連携施設等の増に取組み、在宅患者等の増悪時の受け入れを行いました。 （平成 29 年 3 月 31 日時点） ・医療連携登録医 53 施設・64 名 ・協力医療機関連携施設 41 施設 ○地域連携バスは未実施 ○退院支援チームは実施 ○開放型病床は未設置 ○地域医療機関への医療教育プログラムの提供について 地域医療従事者の資質向上を目的とした各種症例検討会を実施しました。また、地域の医療従事者にも参加を求め、医療教育プログラムを実施しました。 ・病診連携懇話会の開催 2 月 23 日 30 名（再掲） ・医療教育プログラム 新生児蘇生法講習会専門(A)コース 第 1 回 6/25・26 30 名参加 第 2 回 10/23 12 名参加 ALSO 11/5・6 19 名参加 ・消防本部救急隊との意見交換会	地域の医療機関との病診・病病連携を積極的に推進するとともに、介護・福祉施設との密接な連携を図ることで、地域医療の充実を図りました。 ○在宅支援機能の充実について 医療連携登録医や協力医療機関連携施設等の増に取組み、在宅患者等の増悪時の受け入れを行いました。 （平成 29 年 9 月 30 日時点） ・医療連携登録医 58 施設・71 名 ・協力医療機関連携施設 43 施設 ・地域連携バスは未実施 ・退院支援チームは実施 ・生駒市医療介護連携ネットワーク協議会の委員として院長が参加 ・生駒市医療介護連携ネットワーク協議会在宅医療介護推進部会及び入院調整マニュアルワーキンググループの委員として地域医療連携室のメディカルソーシャルワーカーが参加 ○開放型病床は未設置 ○地域医療機関への医療教育プログラムの提供について 地域医療従事者の資質向上を目的とした各種症例検討会を実施しました。また、地域の医療従事者にも参加を求め、医療教育プログラムを実施しました。 ・医療教育プログラム NCPR(新生児蘇生法)講習会 7/15 13 名参加 ALSO は 10 月に開催予定 ・病診連携懇話会は 1 月に開催予定（再掲） ・消防本部救急隊との意見交換会 4/19、8/8 実施 救急搬送状況、転院搬送状況等	○平成 28 年度実施状況調査 ・地域連携バスを実施するためには、各病棟に専従の看護師又は社会福祉士を確保する必要がある。 ・開放型病床については、今後、開業医のニーズがあれば実施する。 ・TCLS（徳洲会二次救命処置法）などの救命講習会の実施についても検討する必要がある。 ●平成 29 年度中間報告 ・地域包括ケアシステムの実現に向けて、市立病院の果たすべき役割を検討していく必要がある。 ・新生児蘇生法の講習会は実施しているが、大人に対する蘇生法（TCLS：徳洲会二次救命処置法）などの救命講習会の実施についても検討する必要がある。	基本方針 地域の医療機関との病診・病病連携を積極的に推進するとともに、介護・福祉施設との密接な連携を図ることで、地域医療の充実に貢献します。 ○在宅支援機能の充実について 増加する在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院としての役割を果たすため、医療連携登録医や協力医療機関連携施設等との連携を強化し、在宅患者の入院加療用病床の確保など、在宅患者等の増悪時の積極的な受け入れを行います。 <u>入退院支援チームの推進、生駒市の入退院調整マニュアルの積極的な活用により、市内等の医療機関や介護事業者等との連絡調整と情報共有による円滑な入退院の推進を図ります。</u> <u>地域連携バスについては、県の取組事例を参考に県や地域の医療機関、医師会と協議の上、必要に応じて実施を検討します。</u> ○開放型病床の設置について <u>開放型病床については、グループ病院の事例等を参考に、地域の医療機関や医師会と協議の上、必要に応じて実施を検討します。</u> ○地域医療機関への医療教育プログラムの提供について 地域医療従事者の資質向上を目的とした各種症例検討会、講演会、研修会、交流会を実施します。また、医療教育プログラムへの地域医療従事者の参加を促進するために、<u>TCLS（徳洲会二次救命処置法）などのプログラムの充実を図るとともに、医療連携登録医をはじめ、地域の病院、診療所へ往訪し、PR や周知を強化します。</u> ・医療教育プログラム ・病診連携懇話会（再掲）

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 28 年度 事業報告	平成 29 年度 中間報告	課題	平成 30 年度 生駒市立病院 事業計画書
●周辺の他の医療機関との連携 新病院開院後は、医師会に加入し、医療機器の相互利用やグループ内専門医による研究会、合同カンファレンスの開催、医師会枠としての開放病床の取組を進めます。 また、連携に賛同された医療機関を写真入りで院内に公開する「かかりつけ医コーナー」を設置し、患者が自由に情報収集でき、希望に応じて紹介状の作成、予約確認等を行い案内するシステムを構築します。 また、地域で必要な医療を確保し、地域の医療機関との連携等を図る観点から、医師会の協力のもと、地域の診療所や病院を支援する医療機関として、将来的には「地域医療支援病院」の承認を目指します。	○周辺の他の医療機関との連携について 地域の診療所との地域医療連携の推進のため、医療機器のオープン利用件数の増を目指し、予約手続き等の簡略化を検討しました。 ・医療機器のオープン利用件数（年間） MRI 217 件(全利用件数 1,748 件) CT 54 件(全利用件数 4,943 件) 内視鏡 8 件（全利用件数 87 件） エコー 6 件(全利用件数 2,834 件) 医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数の拡大を目指し、登録のメリットを PR しました。 （平成 29 年 3 月 31 日時点）（再掲） ・医療連携登録医 53 施設・64 名 ・協力医療機関連携施設 41 施設 <			

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 28 年度 事業報告	平成 29 年度 中間報告	課題	平成 30 年度 生駒市立病院 事業計画書															
1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○救急医療の充実 本地域における二次救急医療に対応できる中核病院の必要性から、内科系、外科系、小児科系の二次救急医療の充実を図る。 ●救急医療体制 市内の二次救急体制で中心的な役割を果たすことを目指し、内科系二次・外科系一次二次輪番体制へ参加するとともに、北和小児科二次輪番体制等への参加や休日夜間応急診療所のバックアップを行います。さらに、救急告示病院として、市消防本部救急隊との連携連絡を緊密にし、かつ当直体制を開示し、24 時間体制での救急受入れをします。 (具体的な体制) <table><tr><td>診療分野</td><td>稼働内容</td><td>稼働回数(1月あたり)</td></tr><tr><td>内科系</td><td>市内内科系・外科系一次二次輪番体制への参加</td><td>内科系 5回</td></tr><tr><td>外科系</td><td></td><td>外科系 5回</td></tr><tr><td rowspan="3">小児科</td><td>奈良県北和小児科二次輪番体制への参加</td><td>休日 2回 夜間 2回</td></tr><tr><td>休日夜間応急診療所のバックアップ(休日夜間の一次救急)</td><td>10回(※1)</td></tr><tr><td>産婦人科(※2)</td><td>10回</td></tr></table> (※1) 現在、休日夜間応急診療所（メディカルセンター）で小児科医師が当直している火・木・土・日（うち火・木は 22:00～24:00 の当直）以外の曜日を小児一次救急担当日とし、開院当初は、当該担当日の月・水・金は 20 時から 24 時までは総合診療医を配置します。ただし、開院後 3 年を目途に小児科医師を 1 名増員することで小児救急の充実を図ります。 (※2) 産婦人科については、一次・二次診療を行います。産婦人科緊急手術、分娩、ハイリスク分娩に対応します。但し、未熟児分娩が予想される場合は NICU を有する北和三次救急施設と緊密な連携を取り迅速な対応をします。	診療分野	稼働内容	稼働回数(1月あたり)	内科系	市内内科系・外科系一次二次輪番体制への参加	内科系 5回	外科系		外科系 5回	小児科	奈良県北和小児科二次輪番体制への参加	休日 2回 夜間 2回	休日夜間応急診療所のバックアップ(休日夜間の一次救急)	10回(※1)	産婦人科(※2)	10回	「断らない」という姿勢のもと、24 時間 365 日受け入れ体制を継続するとともに、地域住民が安心できる救急医療体制の充実に取り組みました。 ○救急医療体制について ・救急受入件数 1,769 件(市内 919 件、市外 850 件) ・救急応需率 83.5% ・消防本部救急隊との意見交換会（再掲） ・市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加に向けて、引き続き関係機関と協議を行うとともに、救急患者の市内受入率の向上を目指し、輪番病院のバックアップの役割を果たしました。 ・北和小児科二次輪番体制への参加に向けて、引き続き関係機関と協議等を行うとともに、小児科常勤医師の確保に努めました。 ・北和産婦人科一次救急医療体制への将来的な参加に向けて、奈良県との情報交換をしながら、産婦人科常勤医師の確保に努めました。	「断らない」という姿勢のもと、24 時間 365 日受け入れ体制を継続するとともに、地域住民が安心できる救急医療体制の充実に取り組みました。 ○救急医療体制について ・救急受入件数 943 件（市内 559 件、市外 384 件） ・救急応需率 86.0% ・救急告示病床 6 床 ・消防本部救急隊との意見交換会（再掲） 4/19、8/8 実施 救急搬送状況、転院搬送状況等 ・市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加に向けて、救急患者の市内受入率の向上を目指し、輪番病院のバックアップの役割を果たしました。 ・北和小児科二次輪番体制への参加に向けて、北和地区小児科病院輪番体制参加病院連絡会に参加し、情報交換を行うとともに、小児科常勤医師の確保に努めました。 ・北和産婦人科一次救急医療体制への将来的な参加に向けて、産婦人科常勤医師の確保に努めました。	○平成 28 年度実施状況調査 ・救急受入の実績を提示する等、輪番体制への参加に向けて引続き関係機関と協議を行う必要がある。 ●平成 29 年度中間報告 ・救急受入の実績を提示する等、輪番体制への参加に向けて引続き関係機関と協議を行う必要がある。 基本方針 救急患者を「断らない」という姿勢のもと、24 時間 365 日受け入れ体制を整え、地域住民が安心できる救急医療体制の充実を目指します。 奈良県総合医療センター等との連携のもと、救急患者の状態に応じた適切な救急医療を実施します。 ○救急医療体制について ・救急受入件数 2,000 件 ・救急応需率 90.0% ・消防本部救急隊との意見交換会 ・市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加に向けて、引き続き関係機関と協議を行うとともに、救急患者の市内受入率の向上を目指し、輪番病院のバックアップの役割を果たします。 ・北和小児科二次輪番体制への参加に向けて、奈良県との情報交換をしながら、小児科常勤医師の増員に努めます。 ・北和産婦人科一次救急医療体制のバックアップの役割を果たします。
診療分野	稼働内容	稼働回数(1月あたり)																	
内科系	市内内科系・外科系一次二次輪番体制への参加	内科系 5回																	
外科系		外科系 5回																	
小児科	奈良県北和小児科二次輪番体制への参加	休日 2回 夜間 2回																	
	休日夜間応急診療所のバックアップ(休日夜間の一次救急)	10回(※1)																	
	産婦人科(※2)	10回																	

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 28 年度 事業報告	平成 29 年度 中間報告	課題	平成 30 年度 生駒市立病院 事業計画書																				
●救急に対する人員体制 医師・看護師・薬剤師・放射線技師・検査技師及び事務職員の当直体制をとります。 (具体的な体制) <table><tr><td></td><td>人員体制</td></tr><tr><td>通常時</td><td>内科系・外科系医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制</td></tr><tr><td>北和小児科二次輪番日</td><td>通常時当直体制＋小児科医師 1 名の当直</td></tr><tr><td>休日夜間応急診療所のバックアップ(小児科)担当日</td><td>通常時当直体制＋総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置</td></tr><tr><td>北和産婦人科一次救急当番日</td><td>通常時当直体制＋産婦人科医 1 名の当直</td></tr></table> ●診療科毎の対応レベル <table><tr><td></td><td>対応レベル</td></tr><tr><td>内科 (二次輪番)</td><td>諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)</td></tr><tr><td>外科・整形外科・脳神経外科 (二次輪番)</td><td>諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)</td></tr><tr><td>小児科 (二次輪番)</td><td>諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可</td></tr><tr><td>産婦人科 (二次輪番)</td><td>諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)</td></tr></table>		人員体制	通常時	内科系・外科系医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制	北和小児科二次輪番日	通常時当直体制＋小児科医師 1 名の当直	休日夜間応急診療所のバックアップ(小児科)担当日	通常時当直体制＋総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置	北和産婦人科一次救急当番日	通常時当直体制＋産婦人科医 1 名の当直		対応レベル	内科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)	外科・整形外科・脳神経外科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)	小児科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可	産婦人科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)	○救急に対する人員体制 救急受入体制として、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を整備しました。当直・オンコール体制のさらなる充実を図りました。 (夜間救急受入体制) ・医師 1 名ないし 2 名の当直 専門医によるオンコール体制 ・外来看護師 2・3 名の当直 ・放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員 各 1 名の当直 ○救急についての診療科毎の対応レベルについて 休日・夜間の診療対応レベルは、CT、MRI、X 線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制を継続した。また、心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術も対応可能な体制を維持しました。 産婦人科のハイリスク分娩については、引き続き奈良県総合医療センターとの連携体制で対応しました。	○救急に対する人員体制 救急受入体制として、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を整備しています。当直・オンコール体制の充実を図りました。 (休日夜間救急受入体制) ・医師 1 名の当直 専門医によるオンコール体制 ・外来看護師 2・3 名の当直 ・放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員 各 1 名の当直 ○救急についての診療科毎の対応レベルについて 休日・夜間の診療対応レベルは、CT、MRI、X 線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制を継続した。また、心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術も対応可能な体制を維持しました。 産婦人科のハイリスク分娩については、引き続き奈良県総合医療センターとの連携体制で対応しました。	○平成 28 年度実施状況調査 ・病院事業計画に掲げる内科系・外科系医師各 1 名の当直体制がとれるよう、常勤医師を確保する必要がある。 特に、当直・オンコール体制に参加できる脳神経外科の常勤医師を確保する必要がある。 ●平成 29 年度中間報告 ・病院事業計画に掲げる内科系・外科系医師各 1 名の当直体制がとれるよう、常勤医師を確保する必要がある。 ・特に、当直・オンコール体制に参加できる脳神経外科の常勤医師を確保する必要がある。	○救急に対する人員体制 救急受入体制として、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を引き続き整備します。<u>特に脳神経外科の常勤医師の確保に努め、当直・オンコール体制のさらなる充実を目指します。</u> (夜間救急受入体制) ・医師 1 名の夜間時間外担当医及び 1 名の常勤当直医 専門医によるオンコール体制 ・外来看護師 2・3 名の当直 ・放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員 各 1 名の当直 ○救急についての診療科毎の対応レベルについて 休日・夜間の診療対応レベルは、CT、MRI、X 線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制を継続します。また、CAG による心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術にも対応可能な体制を充実します。 産婦人科のハイリスク分娩については、引き続き奈良県総合医療センターとの連携体制で対応します。
	人員体制																							
通常時	内科系・外科系医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制																							
北和小児科二次輪番日	通常時当直体制＋小児科医師 1 名の当直																							
休日夜間応急診療所のバックアップ(小児科)担当日	通常時当直体制＋総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置																							
北和産婦人科一次救急当番日	通常時当直体制＋産婦人科医 1 名の当直																							
	対応レベル																							
内科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)																							
外科・整形外科・脳神経外科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)																							
小児科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可																							
産婦人科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)																							

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 28 年度 事業報告	平成 29 年度 中間報告	課題	平成 30 年度 生駒市立病院 事業計画書
1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○小児医療の充実 本地域における小児二次医療の充実の必要性から、地域医療機関との役割分担のもと、二次医療までの対応が可能な小児医療を提供する。	小児の救急対応、入院患者の受入れ等小児二次医療体制の整備に努めました。 ○小児医療体制について ・医師の人員体制は、常勤医師の確保を目指したが退職となった。継続求人中。 ・北和小児科二次輪番体制への参加はできなかった。	小児の救急対応、入院患者の受入れ等小児二次医療体制の整備に努めました。 ○小児医療体制について ・常勤医師 2 名体制を目指し、1 名は平成 30 年 1 月から着任予定、もう 1 名を求人中。 ・稼動病床数は 4 床 ・北和小児科二次輪番体制への参加はできていない。	○平成 28 年度実施状況調査 ・入院医療及び小児救急を充実させるためには、当直が可能な常勤医師を複数人確保する必要がある。 ●平成 29 年度中間報告 ・入院医療及び小児救急を実施するためには、当直が可能な常勤医師を複数人確保する必要がある。	基本方針 小児の救急対応、入院患者の受入れ等小児二次医療体制の整備を行います。 ○小児医療体制について ・ <u>医師の人員体制は、常勤医師の確保により、常勤医師 2 名体制を目指します。</u> ・北和小児科二次輪番体制への参加を目指します。 ・小児アレルギー外来など、小児医療分野の拡充を検討します。
1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○災害時医療の確保 大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な応急用医療資機材等を備えるなど、災害に対する緊急対応ができる機能を確保する。	大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な体制を引き続き整備しました。 ○災害時医療体制の確立について 生駒市立病院災害対策マニュアルに沿って現場スタッフによる実地訓練を行いました。 ・6/9 消防訓練 (通報訓練・初期消火訓練・避難誘導訓練) ・12/4 生駒市総合防災訓練 (トリアージ・患者受入訓練)	大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な体制整備をはじめ、機能の強化に努めました。 ○災害時医療体制の確立について ・8/29 消防訓練 (消防設備の確認・初期消火訓練) なお、通報訓練・避難誘導訓練は、下半期に実施予定。 ・9/10 奈良県総合防災訓練 (トリアージ・患者受入訓練)		基本方針 大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な体制を引き続き整備します。 ○災害時医療体制の確立について 生駒市立病院災害対策マニュアルに沿って現場スタッフによる実地訓練を行います。 ・消防訓練 (通報訓練・初期消火訓練・避難誘導訓練) ・防災訓練 (トリアージ・患者受入訓練・机上訓練)
1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○予防医療の啓発 市立病院であることから、市民の公衆衛生意識の高揚を図るための講習を行うなど、市の保健行政と連携し、保健知識の啓発を図る。 ●疾病予防機能の強化について 疾病予防に向けて、メタボリック・シンドロームや生活習慣病等についての医療講演会を定例的に開催します。(講演会の講師は医師、看護師、管理栄養士、理学療法士等病院内のスタッフや院外の医療従事者が務めます。) また、市民健診や予防接種について、市医師会と連携して、二次健診の分担等の協力体制を整備します。	市民の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療、重症化の防止を目的として、医療に関する基礎知識や最新の情報を医療講演会を通して提供しました。 また、市民健診や予防接種については、実施体制の整備と共に関係機関等と協議を行い、適宜実施しました。 ○疾病予防機能の強化について 胃がん、乳がん、子宮頸がん検診など未実施の健診については、実施体制の整備と共に関係機関等と協議を行いました。 ・医療講演会(自治会等各種団体への出張講座を含む) 40 講座 参加者 1,806 名 ・市民健診 大腸がん検診 104 件 肝炎ウイルス検診 17 件 特定健診 802 件 一般健診 599 件 人間ドック・脳ドック 400 件 その他団体健診等 995 件 ・高齢者インフルエンザ予防接種 自己負担金免除対象者 250 件	市民の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療、重症化の防止を目的として、医療に関する基礎知識や最新の情報を医療講演会を通して提供しました。 また、市民健診や予防接種については、実施体制の整備と共に関係機関等と協議を行い、適宜実施しました。 ○疾病予防機能の強化について 胃がん検診については、9 月 1 日から胃カメラ検診を実施できるようになりました。 ・医療講演会(再掲) 25 講座 参加者 1,262 名 ・市民健診 大腸がん検診 47 件 胃がん検診 14 件 肝炎ウイルス検診 12 件 特定健診 427 件 一般健診 324 件 人間ドック・脳ドック 247 件 その他団体健診等 876 件 ・高齢者インフルエンザ予防接種は下半期に実施予定	○平成 28 年度実施状況調査 ・認知症やうつ病など、市立病院のスタッフでは対応できない分野について、院外の医療従事者による講演会を開催する取組みも必要である。 ・胃がん、乳がん、子宮頸がん検診など未実施の健診については、実施体制の整備と共に関係団体等と協議を行い、適宜実施していくことが必要である。 ●平成 29 年度中間報告 ・乳がん、子宮頸がん検診など未実施の健診については、実施体制の整備とともに関係団体等と協議を行い、引き続き適宜実施していくことが必要である。	基本方針 市民の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療、重症化の防止を目的として、医療に関する基礎知識や最新の情報を医療講演会を通して提供します。 また、市民健診や予防接種については、実施体制の整備と共に関係機関等と協議を行い、適宜拡充していきます。 ○疾病予防機能の強化について <u>市民への予防医療の啓発として、認知症やうつ病、発達障害など、市民の要望が多いものの市立病院スタッフで対応できない分野について、市が実施する医療講演会等を支援します。</u> <u>乳がん検診など未実施の健診については、実施体制の整備と共に関係機関等と協議を行い、実施を検討します。</u> ・医療講演会(自治会等各種団体への出張講座含む) 月 4 回程度実施 ・市民健診 胃内視鏡検診 160 件 大腸がん検診 200 件 肝炎ウイルス検診 50 件 特定健診 1,000 件 一般健診 550 件 人間ドック・脳ドック 500 件 その他団体健診等 1,000 件 ・高齢者定期予防接種 インフルエンザ 250 件 肺炎球菌 180 件

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 28 年度 事業報告	平成 29 年度 中間報告	課題	平成 30 年度 生駒市立病院 事業計画書
1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○市民参加による運営 条例で設置された市民の代表が参加する病院事業推進委員会において、運営の基本となる病院事業計画、指定管理者との協定及び運営状況の改善について審議し、市民参加による病院運営を実現する。	市立病院の運営状況等について、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会等を通して、市民等に情報を提供するとともに、市民参加による病院運営を行いました。また、市民にとって親しみを感じられる病院を目指し、各種市民交流行事を開催しました。 ○市民の意見の反映の仕組み ご意見箱の意見及び改善の取組みについて院内掲示、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会への報告など市民等に周知しました。 ・市立病院管理運営協議会開催 ・ご意見箱の内容に対応（再掲） ○市民交流事業について 市立病院ロビーコンサートなど市民交流事業を広く市民に周知し、実施しました。 ・市立病院ロビーコンサート ムジークフェストなら 2016 6／16 約 300 名参加 奈良県大芸術祭 10／30 65 名参加 ・サマーフェスタ＆親子見学会 8／20 82 名参加	市立病院の運営状況等について、市立病院管理運営協議会等を通して、市民等に情報を提供するとともに、市民参加による病院運営を行いました。また、市民にとって親しみを感じられる病院を目指し、各種市民交流行事を開催しました。 ○市民の意見の反映の仕組み ・市立病院管理運営協議会開催 ・入院・外来患者アンケート調査実施（H29.5）（再掲） 患者満足度（総合評価の評点） 入院 80.6 点（有効件数 102 件） 外来 79.3 点（有効件数 407 件） ・ご意見箱の内容に対応（再掲） ご意見箱の意見による改善の取組について、1 階中央待合室の掲示板に掲載するとともに、情報発信モニターに掲載しました。また、生駒市立病院管理運営協議会へ報告しました。 ○市民交流事業について 市立病院ロビーコンサートなど市民交流事業を広く市民に周知し、実施しました。 ・健康フェスティバル 6/4 約 700 名参加 ・市立病院ロビーコンサート ムジークフェストなら 2017 6/11 約 140 名参加 ○市民ボランティア 市立病院 4 階中庭の植栽の手入れ等	○平成 28 年度実施状況調査 ・より多数の市民に参加していただけるよう、広報を強化することが必要である。 ●平成 29 年度中間報告 ・ご意見箱の意見及び改善の取組みについて、ホームページでの公表等も検討する必要がある。	基本方針 市立病院の運営状況等について、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会等を通して、市民等に情報を提供するとともに、市民等の意見を聴取することで、市民参加による病院運営を推進します。また、市民にとって親しみを感じられる病院を目指し、各種市民交流行事を開催します。 ○市民の意見の反映の仕組み <u>入院・外来患者アンケート調査の結果、ご意見箱の意見及び改善の取組みについて、院内掲示、ホームページでの公表、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会への報告など広く市民等に周知します。</u> また、年度事業報告書に係る実施状況調査（中間報告を含む）について市立病院管理運営協議会等で評価、意見聴取し、年度事業計画に反映します。 ・市立病院管理運営協議会 ・入院・外来患者アンケート調査（再掲） ・ご意見箱の内容に対する対応（再掲） ○市民交流事業について <u>市立病院での院内コンサートなど市民交流事業の開催について、広く広報します。</u> ・健康フェスティバル ・院内コンサート
1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○環境に配慮した運営 新病院の運営にあたっては、環境マネジメントシステムである ISO(国際標準化機構) 14000 シリーズの認証取得を目指す。	引き続き市の環境マネジメントシステムのエコオフィスに取組みました。 ・ミックスペーパーなど資源ごみの分別回収を強化しました。 ・引き続き日々の電気・ガス・水道使用料を毎朝のミーティングで幹部職員に周知し、院内での省エネルギー化の啓発を図りました。	引き続き市の環境マネジメントシステムのエコオフィスに取組みました。 ・ミックスペーパーなど資源ごみの分別回収を強化しました。 ・引き続き日々の電気・ガス・水道使用料を毎朝のミーティングで幹部職員に周知し、院内での省エネルギー化に努めました。		基本方針 引き続き市の環境マネジメントシステムのエコオフィスの取組を推進します。 ・ミックスペーパーなど資源ごみの分別回収を強化します。 ・日々の電気・ガス・水道使用料を毎朝のミーティングで幹部職員に周知することで、院内での省エネルギー化の啓発を図ります。